

# 雑木蝶



さん ぐう  
**三宮ゆきお**

新潟県柏崎市西山町生 (故 田中角栄氏同郷)  
法政大学大学院 社会科学研究所政治学修了  
北本市立北小・南小助教諭・教諭  
北本市教育委員会市史編さん室長

三宮ゆきお後援会

討議資料

北本市西高尾 1-259 TEL.FAX.048-592-1376  
E-mail:sangu@salsa.ocn.ne.jp

平成10年頃のような  
をまとめた記述です。  
(雑木蝶70号)  
最近まとめた特集号と  
比較しお読みください。

## 北本の三内丸山遺跡！出土遺物危機

### 北本中の一角(廊下・階段・トイレ)に野積み状態 もはや、北本の先人への冒とくです！

# 百年に一度の大発見

北本市下石戸下に所在する「デーノタメ遺跡」を取り巻く景観や出土遺物は、国指定の青森県三内丸山遺跡級であり(明治大学阿部教授談 毎日新聞2009. 2. 18)、日本の古代史上でも「百年に一度の大発見」と言われています。

しかしながら、この出土遺物は、水替えの他は本格的な分析や整理もされず今も北本中の一角(廊下や階段、トイレ含)にほぼ野積み状態です。

この遺跡の発掘に携わった関係者の声はいまや悲鳴に近い状態です。赤や黒の鮮やかな漆塗りの土器が日に日に色あせていきます。(高松塚、キトラ古墳の壁画の二の舞はゴメン)

実はこれには理由があります。驚くことに、この発掘の主担当者が21年4月突然他の部署への異動となったのです。市の職員ですから異動はつきものです。人事は首長の専権事項ですしそのことに異をとねるつもりはありません。しかし、これだけの遺物ですから、この主発掘担当者が遺物の整理を進めるのはこの世界の常識です。現在は報告書刊行の見通しすらついていません。すでに、2年間の空白が出来てしまいました。もはや、北本の先人への冒とくとしか思えません。

そんな市の取り組みにいたたまれなくなった市民が、この程(10/31 文化センター)講演会を開催いたしました。発掘時いち早く駆けつけてくださった日本の縄文及び漆研究の第一人者である明治大学教授阿部先生、宮腰先生をお招きしての講演会(デーノタメ遺跡を考える市民の会主催)です。当日は、200名以上の皆様に参加いただき、会場は超満員となりました。そこで、両先生からはあらためて、この遺跡が青森県の「三内丸山級の史跡」であると説明していただきました。なお、古より陶器はチャイナ(中国)、漆はジャパン(日本)の代名詞です。

北本はもとより、日本の新名所、顔となりうるこの遺跡、今後のまちづくりのキーワードと言えます。

#### 文化庁・学界を動かす！北本デーノタメ遺跡(縄文中期)

デーノタメ遺跡は、江川源流(湧水池)の北本市下石戸下地内(久保区画整理事業)に所在する縄文時代中期の水辺空間の遺跡です。また、数年前まで「オオタカ」が棲息していた森として知られています。

出土遺物は、鮮やかな赤や黒に漆彩された土器が質・量ともに充実しています。このほか水銀朱を用いた漆器、クルミ形土製品やヒスイ製大珠、棒状木製品等が出土しています。本遺物は文化庁や学界も注目し、現在、漆塗り土器は、奈良文化財研究所と共同で保存処理方法を研究しています。さらに、国立歴史民俗博物館、森林総合研究所、東大、名古屋大などとも連携をとり資料分析を進めています。(実際は、上記の理由で中断状態です。)

#### 遺跡名について

##### 「デーノタメとは？」教育委員会説

遺跡名の「デーノタメ」とは、かつてこの地に所在していた1,000mほどの湧水地の呼称で、おそらく縄文時代から人々の生活に欠かせない水源であったものと思われる。

##### 「デーノタメとは？」市内識者より三宮へ投稿(原文のまま掲載)

デーノタメの言葉の探求がおもしろい。「デー」は、「台」の方言であるのは間違いなからうが、台は、古代中国語で、「文王以民力為台為沼」(文王、民力をもって台をつくり、沼をつくる)(孟子・梁上)とあり、建造物を指しています。日本古語でも建造物が主な語義です。近代語では台地です。「デー」が古語なら、その辺りに、屋敷跡の痕跡(関東ローム層では木片は無理か。でも、ローム層形成前なら、ひょっとして残っているかも)があるのではなからうか、と夢がふくらんできます。まさに、ロマンです。

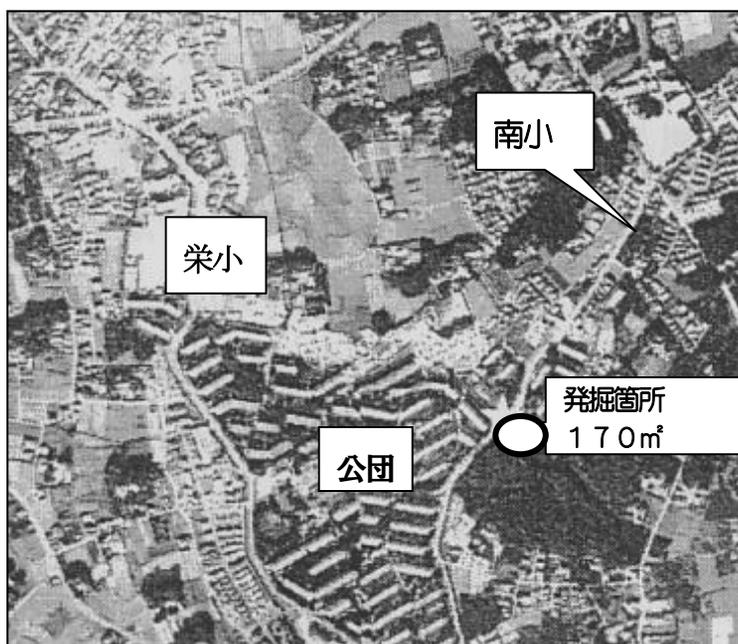
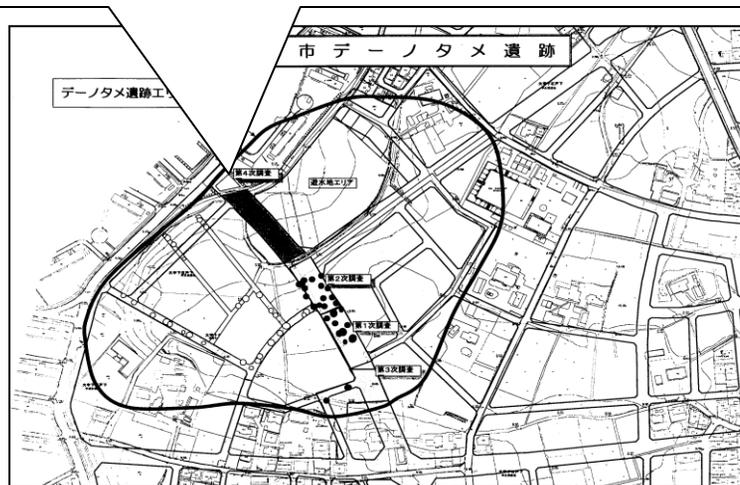
# 懸命に発掘作業に携わった作業員さんたちに報いよ！

デーノタメ遺跡にかかる主な事業経過時系列表

月 日	遺跡調査	外部有識者指導・教示
平成10年度	遺跡内道路部分	
平成12年度	第一次調査	勝坂式土器出土
平成18年度	第二次調査	
平成19年度	第三次調査	
平成19~20年度	第四次調査	
2. 13		県担当者来跡
3. 26		山梨県埋文センター来跡
3. 28		明治大学、東京大学総合研究博物館員来跡
4. 22		文化庁文化財調査官来跡
4. 23		パレオ・ラボ、森林総合研究所来跡
5. 1		県自然史博物館、花粉・微粒炭サンプリング調査
5. 19		東京国立博物館名誉館員来跡
5. 31		珪藻サンプリング調査 (パリノ・サーベイ)
6. 18		文化庁主任文化財調査官、文化財調査官、漆塗土器調査
6. 28	第四次調査終了	
7. 1	遺跡浄・整理開始	
7. 17		珪藻分析報告 (パリノ・サーベイ)
7. 24		漆塗土器評価 (国立歴史民俗博物館准教授)
7. 27	埼玉県報告会	
7. 28		年代測定打合せ (中央大学准教授、名古屋大学研究員)
8. 4~6	遊水地地試掘	県担当者立会い
9. 17		トキ年代分析依頼 (2点)
10. 10	県保護課へ状況説明	
10. 23	県保護課・調査	
12. 2		漆製品保存処理の技術開発開始 (奈良文化財研究所)
12. 9		漆製品保存処理の打合せ、サンプル資料渡し (奈良文化財研究所)
12. 18	文化庁へ状況説明	
2009. 1. 16		東京藝術大学漆塗土器調査2名1人は「人間国宝」
2. 17	定例記者会見	
2. 18	新聞記事掲載	朝日・毎日・読売・埼玉・東京新聞各社
3. 1	市広報記事掲載	
3. 15	市教委主催遺跡報告会	NHKテレビ首都圏二・三放映 200名以上の参加者 会場超満員
4. 1		突然発掘主担当者異動
11. 13	第1回検討委員会	久保土地区画整理事業及びデーノタメ遺跡にかかる検討委員会7名 (内有識者6、地権者1)
2010. 1. 29	第2回検討委員会	〃
2. 15	第3回検討委員会	〃
3. 29	第4回検討委員会	〃
4. 16		〃 市長へ報告書
10. 30	市民の会主催講演会	「デーノタメ遺跡を考える市民の会」主催 (代表石川 修) の講演会200名以上の参加者 会場超満員 (明治大学阿部、宮腰教授)

広大な遺跡エリアの一部を今回発掘

(久保区画整理地内)



この空白期間は、真冬の寒さそして梅雨の蒸し暑さの中で懸命に発掘作業に携わった地元の作業員さんたちの思いに報いていません。責任者を出せ！です

発掘関係者の叫びの聲に、ようやく重い腰をあげて市は検討委員会を立ち上げました。当初は秘密会で行う方針と説明。市民の皆様の猛抗議で撤回するも公募はなし。

